

機械器具3 医療用消毒器
管理医療機器 小型包装品用高圧蒸気滅菌器 38671020
特定保守管理医療機器 クイッククレーブ DA-7

【警告】

- 1) 本機器は、滅菌から乾燥までを行う器械です。その他の用途には使用しないこと。
- 2) 電源スイッチをONにしてからは、缶体加熱され熱くなります。不用意に触れないこと。火傷をします。
- 3) 滅菌中、滅菌終了後は缶体を中心に周りの金属部分が高温になっていますので、不用意に触れないこと。火傷をします。
- 4) 滅菌終了後は約1分間、蒸気が出ますので注意すること。
- 5) 滅菌室内には専用のカゴに入れた被滅菌物以外のものを入れないこと。
- 6) 水を注ぐときは、スイッチおよびランプ等へ水をかけないこと。
- 7) 滅菌中は絶対にドアを開けないこと。
- 8) 滅菌用水として水道水・精製水・蒸留水およびお湯以外は絶対に、水槽内に入れられないこと。

【禁忌・禁止】

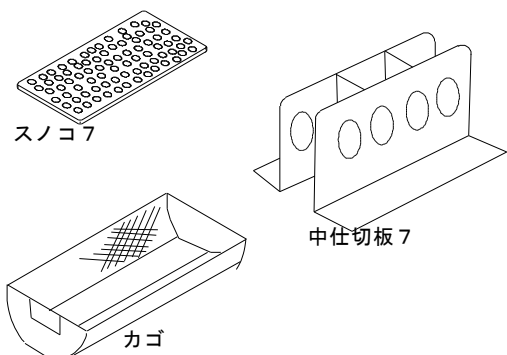
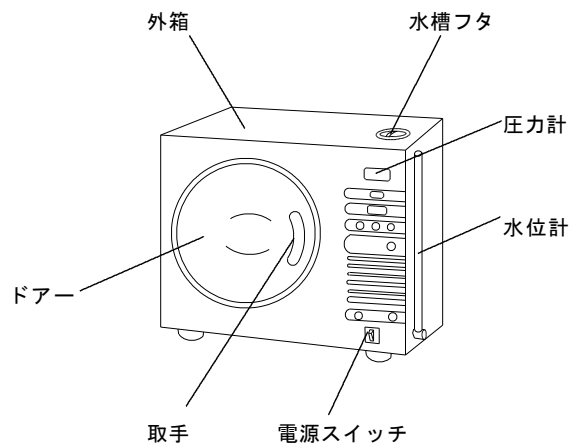
- 1) 次の行為の禁止
 - ①機器の改造
 - ②不具合状態での使用
 - ③未整備状態での使用
- 2) 次にあげるものを滅菌してはならない。
被滅菌物の耐熱温度がオートクレーブに耐えられないもの。

【併用禁忌】

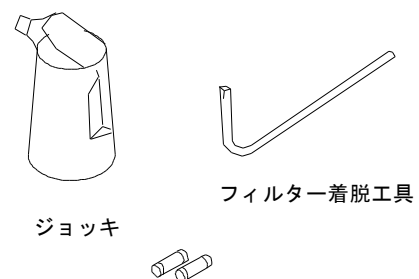
- 1) 本製品は、電磁妨害波が存在する環境下では誤動作を起こす可能性があり、コンピュータ、通信設備、エレベータなどの電磁波を発生させる機器の周辺に設置しないこと。
- 2) 本製品は、断続的に蒸気が出ますので、他の機器に隣接して設置しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1) 機器外観図



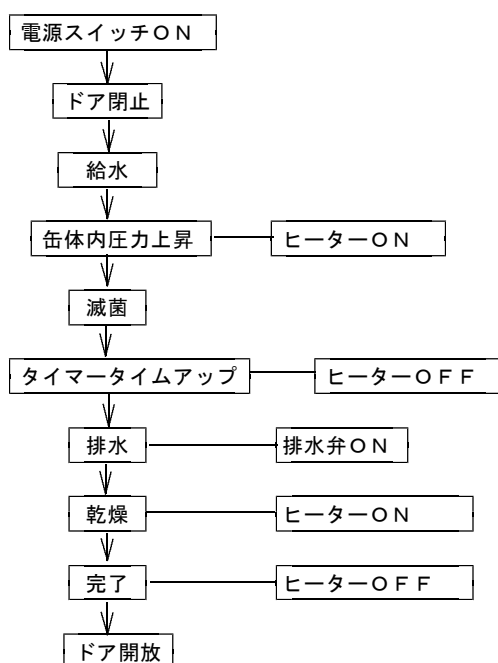
2) 付属品



取扱説明書を必ずご参照下さい。

3) 作動・動作原理

クイッククレープD A-7は約2.9 Lの水を水槽内にジョッキで注水し、電源スイッチをONすると水槽から缶体内に水が定量入り、滅菌ヒーターに通電し、缶体内に蒸気が発生して温度が上昇します。次第に増加する蒸気は、空気抜き弁から蒸気を出して飽和蒸気になります。圧力が設定圧力に上昇すると、滅菌タイマーが作動します。設定時間後に滅菌ヒーターがOFFになり、排水電磁弁を開き缶体内の蒸気及び温湯は排水口を通して水槽に排出されます。再び滅菌ヒーター及び缶体ヒーター、温風ヒーターを制御して設定時間、缶体内の温度を一定に保ち、缶体内の滅菌物を乾燥します。乾燥時間に達すると終了ブザーで滅菌サイクルが完了したことを知らせます。



4) 安全装置

① ドアスイッチの機能及び動作

ドアスイッチが作動しないとスタートしない。

② 安全弁の機能及び動作

チャンバ圧力が使用最高圧力を越える圧力が発生したときチャンバなどの安全を確保するため安全弁を備える。

吹き出し設定圧力は 0.28 MPa

③ 過圧スイッチ

何かの異常が発生してチャンバ内の圧力が上昇した場合、過圧スイッチが作動してエラー [E 8] を表示して、チャンバ内の圧力を「0」に戻します。

④ 空焚き防止装置

工程の途中で滅菌ヒーターが異常に高温になった場合はエラー [E 4] [E 5] を表示し、中

の滅菌物が焦げないようにヒーターをOFFにします。

【使用目的、効能又は効果】

微生物を不活性化する滅菌剤として湿熱（通常：水蒸気）を利用した医療用の滅菌器で、主たる滅菌機能として、未包装の手術器具等を滅菌するための運転サイクルを有する装置。なお、装置の本体部分である圧力容器部分が、労働安全衛生法施行令で定める小型圧力容器、簡易圧力容器又はない容積0.3リットル以上の規格外容器に該当する。

【品目仕様等】

1) 仕様

- ① 電源電圧 : AC100V 50/60Hz
- ② 消費電力 : 1200W
- ③ 質量 : 35kg
- ④ 電撃に対する保護の形式 : クラスⅠ機器
- ⑤ 電撃に対する保護の形式 : B形機器

2) 性能（温度・時間の精度）

滅菌温度(0℃～5℃)	滅菌時間(0分～1分)
135℃	5分
132℃	10分
121℃	20分
115℃	30分

()内は精度です。

【操作方法又は使用方法等】

1) 使用前準備

- ① 被滅菌物をカゴ又は、カストに適量入れる。
- ② 電源スイッチをONにする。

2) 使用前の点検

- ① ドアパッキン部の汚れを確認。
- ② 缶体水フィルター、水槽フィルターの汚れを確認。
- ③ 水量の確認。

3) 操作

- ① 滅菌温度の選択をする。
- ② 被滅菌物を缶体内に収納する。
- ③ スタートキーを押す。
- ④ 完了のブザーが鳴ったら、ストップキーを押す。
- ⑤ 滅菌物を取り出す。

4) 使用後の処理

- 電源スイッチをOFFにする。

【使用上の注意】

- 1) 熟練者以外は本機器を使用しないこと。
- 2) スイッチの接触状況、メーター類などの点検を行い、機器が正確に作動することを確認すること。
- 3) 他の機器との併用は、危険を起こすおそれがあるので、十分注意をすること。
- 4) 水槽タンクの水は水位計のHまで入れること。
- 5) 電源スイッチをONにすると缶体は加熱され熱くな

ります。滅菌物を収納するときは、缶体に手指を触れないようにしてください。

- 6) 滅菌中は水槽フタの周り、及び本体のドアは高温になるので触れないこと。
- 7) 滅菌終了後に排気工程のときは、水槽フタ付近より勢いよく蒸気が出ます。手や顔を出さないこと。
- 8) 滅菌物の取り出しには十分注意すること。
- 9) コード類の取り外しに際してはコードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
- 10) カゴや缶体内はきれいに洗浄すること。
- 11) 故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行い修理は専門家に任せること。
- 12) 滅菌時間は被滅菌物が滅菌バック又は一重に包装された場合の最小設定時間です。滅菌時間の設定を変更した場合は市販の滅菌インジケーター等で確認の上、お客様の責任で設定して下さい。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

- 1) 保管環境条件（温度・湿度等）は下記の通り。
 - ①周囲温度 -10～+60℃
 - ②相対湿度 30～75%
 - ③気 圧 700～1060hpa
(結露は除く)
- 2) 保管場所条件は下記の通り。
 - ①水、薬液等がかからない場所に保管すること。
 - ②気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生じるおそれのない場所に保管すること。
 - ③傾斜、振動、衝撃等の安定状態に注意すること。
 - ④化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
- 3) 耐用期間
正規の定期自主点検ならびに消耗品の部品交換を行った場合に限り7年間です。

【保守・点検に係る事項】

- 1) 作業は、本体が十分に冷えてから行うこと。
- 2) 1日の作業が終了したらドアパッキンと缶体との当たり面双方の面を掃除すること。
- 3) 1日の作業が終了したらスノコフを取り出し、缶体の汚れ、水分を拭き取ること。
- 4) 1週間に一度は水槽内の水槽フィルターと缶体内の缶体内水フィルターの掃除をすること。
- 5) 1週間に一度は水槽内の水を捨て、新しい水を入れること。
- 6) 表面の清拭にはシンナーを使わないこと。
- 7) ドアパッキンは消耗品です。1年以内に新しいものに交換すること。
- 8) 毎年1回以上マイクロフィルターを交換すること。

【包装】

標準構成品は、納品時には1箱に全てが含まれています。
商品構成については、本紙1/3の【形状・構造及び原理等】を参照。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元 : 株式会社 東邦製作所 鹿島工場
住 所 : 〒 314-0254
茨城県神栖市太田4266-5
TEL : 0479-46-2571
FAX : 0479-46-2573

製造元 : 株式会社 東邦製作所 鹿島工場

販売業者	: 長田電機工業株式会社
住 所	: 〒 141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
TEL	: 03-3492-7651
FAX	: 03-3492-7506